

令和 7 年度新宿御苑日本館御殿工事（Ⅰ）展示映像撮影業務にかかる仕様書

1. 件名

令和 7 年度新宿御苑日本館御殿工事（Ⅰ）展示映像撮影業務

2. 業務履行期限

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日（水） まで

3. 適用範囲

本仕様書は、令和 7 年度新宿御苑日本館御殿工事（Ⅰ）展示映像撮影業務（以下「本業務」という）に適用する。

4. 業務の目的

現在、新宿御苑では、戦火で焼失した「日本館御殿」の復元的整備工事としてⅠ工事に取り組んでいるところである（今後Ⅱ工事についても、別途着手の予定である）。本業務では、当該Ⅰ工事について、工事の記録としてではなく、一般来園者に対して訴求性の優れた映像展示を制作するため、映像撮影を実施するものである。

5. 業務対象

業務対象地及び業務対象は、以下のとおりである。

- ・ 東京都新宿区内藤町 11 新宿御苑地内

6. 業務の与条件

- ・ 工事の工程は、別紙 1 のとおり。
- ・ 建物の図面は、別紙 2 のとおり。

7. 業務の内容

（1）与条件の把握及び映像計画の作成

- ・ プロデューサーは日本館御殿の整備事業、関連するこれまでの成果物の内容、園内の工事等の状況を把握し、別紙 1 の概略工事工程表を参照し、撮影計画を作成する。
- ・ スチルには、できる限り来園者が映らないように、休園日（毎週月曜日、月曜日が休日の場合は翌平日）を中心に、天候が良好な日を基本に撮影計画を立案する。
- ・ 工事の進捗の把握、現場での安全確保のため、工事請負業者等と密に連絡を取ること。
- ・ 過年度の文化財発掘調査時の映像のトーン（“人の技術”にフォーカス）を活かすよう企画の検討を行うこと。
- ・ スチルについては、新宿御苑管理事務所のホームページ及び web 音声ガイダンスにて使用するもので、当該媒体についてトンマナの検討に、内容の確認を行うこと。
- ・ 貸与資料、現地踏査により、業務目的を達するためのアイデアを整理すること。

（2）映像等の撮影

- ・ 基礎工事着手から内部木工事完了までの主な工事状況の映像撮影を行う。撮影対象は、別紙 3 とする。

- ・日本館御殿を中心とした魅力の発信に対応できるよう、スチル撮影を行う。撮影対象は、別紙 4 とする。必要に応じて、エキストラを手配する。

- ・工場撮影を 4 箇所にて行う。

撮影場所は、以下を想定する。

- ・木加工工場 埼玉県秩父市下影森
- ・瓦製作工場 福井県福井池ノ上町
- ・鋳金物製作工場 埼玉県越谷市七左町
- ・石加工工場 茨城県桜川市真壁町真壁
- ・業務内容、撮影日数、作業スタッフ数は、金抜き内訳以上の日数とする。
- ・作業従事の確認できる日報を作成すること。
- ・撮影機材は以下のスペックと同等以上とする。

(地上映像撮影)

○4K 撮影機材

- ・カメラ (SONY α 7SⅢ)
- ・レンズ (Canon EF 16～35mm F2.8L Ⅲ USM)
- ・レンズ (Canon EF 70～200mm F2.8L IS Ⅲ USM)
- ・雲台+三脚 (Manfrotto MVK504XCTALL) 相当

○音声機材

- ・マイク (SONY α 7 用 XLR-K1M XLR アダプターキット) 相当

(地上スチル撮影)

- ・カメラ (CANON EOS R5)
- ・レンズ (Canon EF 16～35mm F2.8L Ⅲ USM)
- ・レンズ (Canon EF 70～200mm F2.8L IS Ⅲ USM)
- ・雲台+三脚 (GITZO G1570M+GT5560SGT) 相当

(空中映像撮影、空中スチル撮影)

○ドローン機材

- ・ドローン (DJI Mavic 3 Pro Cine)
- ・外部モニター (ATOMOS SHOGUN 7)
- ・広角レンズ、ND フィルターセット、プロペラガード 相当

なお、データは 3840 x 2160 (30p, 60M)、48khz 16bit stereo とする。

但し、8K、360° などの撮影を実施した場合は、その規格に応じたデータにすること。

8. 成果物

本業務にかかる事項についてとりまとめ、報告書を以下の部数作成する。

紙媒体：報告書 1 部 (金文字黒表紙)

報告書には納品データリスト (サムネイル・撮影日時・撮影内容を記載) を含む

電子媒体：報告書の電子データを収納した DVD-R 2 枚

撮影の成果データを収納した HD 1 セット

提出場所 環境省新宿御苑管理事務所

9. 技術者の配置

請負者は、本業務における管理技術者・担当技術者を定め、発注者に通知しなければならない。

管理技術者、担当技術者は、平成 25 年度以降に業務が完了した以下の業務実績を有する者でなけ

ればならない。管理技術者とディレクター、ディレクターと映像カメラマンは、兼務してもよい。ただし、撮影当日は、ディレクターが立ち会いのもと、撮影を行うこと。

管理技術者：パブリックスペースで上映する映像コンテンツのプロデューサーまたはディレクター従事実績3件

ディレクター：高度な映像技術（4K以上の高精細映像や360°映像）を活かした撮影及び編集実績3件

映像カメラマン：4K以上の高精細映像の撮影実績3件

ドローンカメラマン：4K以上の高精細ドローン映像の撮影実績3件

10. 著作権等の扱い

- (1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は、納品の完了をもって請負者から環境省に譲渡されたものとする。
- (2) 請負者は、自ら製作・作成した著作物に対し、いかなる場合も著作権者人格権を行使しないものとする。
- (3) 成果物の中に請負者が権利を有する著作物等（以下「既存著作物」という。）が含まれている場合、その著作権は請負者に留保されるが、可能な限り、環境省が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、無償で既存著作物の利用を許諾する。
- (4) 成果物の中に第三者の著作物が含まれている場合、その著作権は第三者に留保されるが、請負者は可能な限り、環境省が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、第三者から書面による利用許諾を取得する。
- (5) 成果物納品の際には、第三者が二次利用できる箇所とできない箇所の区別がつくように留意するものとする。
- (6) 納入される成果物に既存著作物等が含まれる場合には、請負者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行うものとする。また、著作権について不当な取り扱いが生じないよう、各材料の使用について相手方の承諾を付した一覧に整理すること。

11. 情報セキュリティの確保

請負者は、下記の点に留意して、情報セキュリティを確保するものとする。

- (1) 請負者は、請負業務の開始時に、請負業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制について環境省担当官に書面で提出すること。
- (2) 請負者は、環境省担当官から要機密情報を提供された場合には、当該情報の機密性の格付けに応じて適切に取り扱うための措置を講ずること。
また、請負業務において請負者が作成する情報については、環境省担当官からの指示に応じて適切に取り扱うこと。
- (3) 請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行が不十分と見なされるとき又は請負者において請負業務に係る情報セキュリティ事故が発生したときは、必要に応じて環境省担当官の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。
- (4) 請負者は、環境省担当官から提供された要機密情報が業務終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。

また、請負業務において請負者が作成した情報についても、環境省担当官からの指示に応じて適

切に廃棄すること。

(5) 請負者は、請負業務の終了時に、本業務で実施した情報セキュリティ対策を報告すること。

(参考) 環境省情報セキュリティポリシー

<http://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

12. その他

(1) 請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本特記仕様書により難い事由が生じたとき、あるいは本特記仕様書に記載のない細部については、環境省担当官と速やかに協議しその指示に従うこと。

(2) 業務中の安全管理

- ・ 感染症の蔓延防止に対し、常に注意を払い、その防止に努める。
- ・ 気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。
- ・ 業務に当たっての近隣等との均衡は、次による。また、その経過について記録し、遅滞なく関係者に報告する。
 1. 地域住民等と業務上必要な均衡を行うものとし、あらかじめその概要を関係者に報告する。
 2. 業務に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応する。
- ・ 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を関係者に報告する。

(3) 官公署その他への届出手続等

- ・ 業務の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行う。
- ・ 関係法令等に基づく官公署その他関係機関の検査においては、その検査に必要な資機材及び労務等の一切の費用を請負者は負担する。

(4) 書類の書式等

- ・ 書面を提出する場合の書式（提出部数を含む。）は、発注者の指示による。
- ・ 発注者に提出する書類は、発注者と協議のうえ電子化し、データを添えて提出する。

(5) 設計図書等の取扱い

- ・ 設計図書及び関係図書を、業務のために使用する以外の目的で第三者に使用させない。また、その内容を漏えいしない。ただし、あらかじめ発注者の指示を受けた場合は、この限りでない。

1. 報告書等の仕様及び記載事項

報告書等の仕様は、契約締結時においての国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号）第 6 条第 1 項の規定に基づき定められた環境物品等の調達の推進に関する基本方針の「印刷」の判断の基準を満たすこと。ただし、判断の基準を満たす印刷用紙の調達が困難な場合には、環境省担当官と協議し、了解を得た場合に限り、代替品の納入を認める。

なお、「資材確認票」及び「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト」を提出するとともに、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙等に表示すること。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔A ランク〕のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は環境省担当官と協議の上、基本 方針 (https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/net/kihonhoushi_n.html) を参考に適切な表示を行うこと。

2. 電子データの仕様

電子データの仕様については下記によるものとする。ただし、仕様書において、下記とは異なる仕様によるものとしている場合や、環境省担当官との協議により、下記とは異なる仕様で納品することとなった場合は、この限りでない。

(1) Microsoft 社 Windows11 上で表示可能なものとする。

(2) 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。

- ・文章：Microsoft 社 Word
- ・計算表：表計算ソフト Microsoft 社 Excel
- ・プレゼンテーション資料：Microsoft 社 PowerPoint
- ・画像：PNG 形式又は JPEG 形式
- ・音声・動画：MP3 形式、MPEG2 形式又は MPEG4 形式

(3) (2) による成果物に加え、「PDF ファイル形式 (PDF/A-1、PDF/A-2 又は PDF1.7)」による成果物を作成すること。

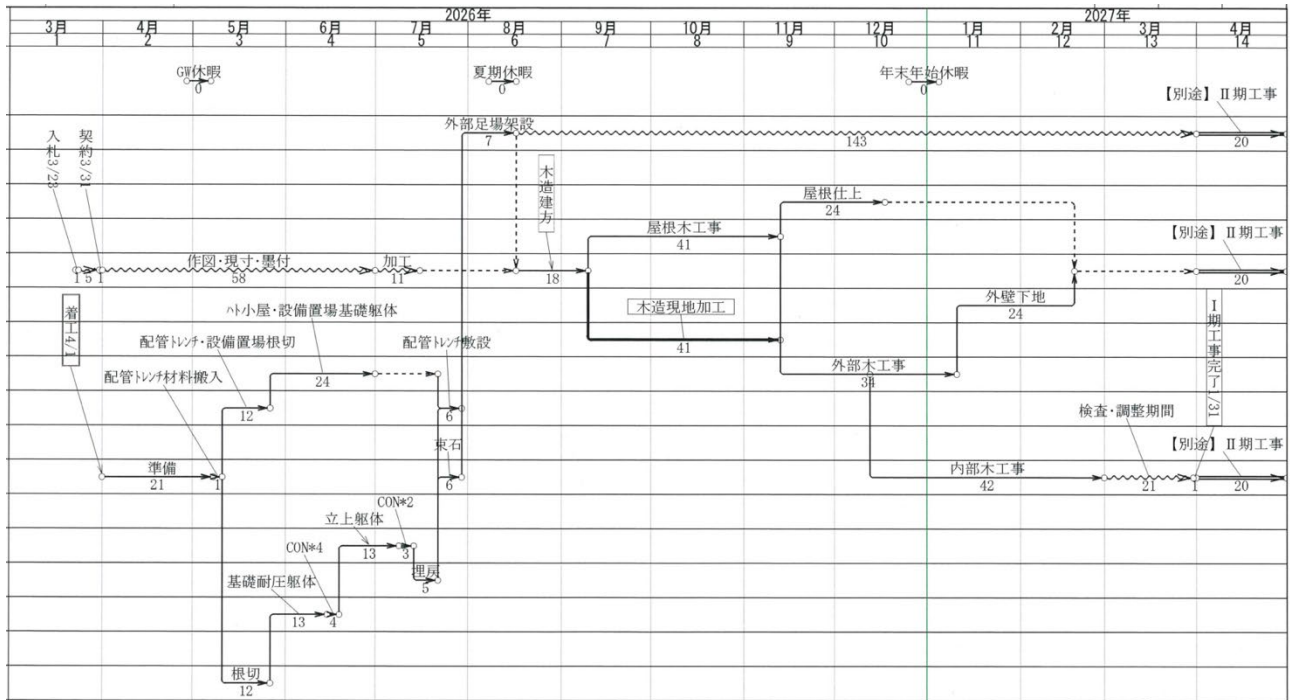
(4) 以上の成果物の格納媒体は DVD-R 又は CD-R（以下「DVD-R 等」という。仕様書において、DVD-R 等以外の媒体が指定されている場合や、環境省担当官との協議により、DVD-R 等以外の媒体に格納することとなった場合は、この限りでない。）とする。業務実施年度及び契約件名等を収納ケース及び DVD-R 等に必ずラベルにより付記すること。

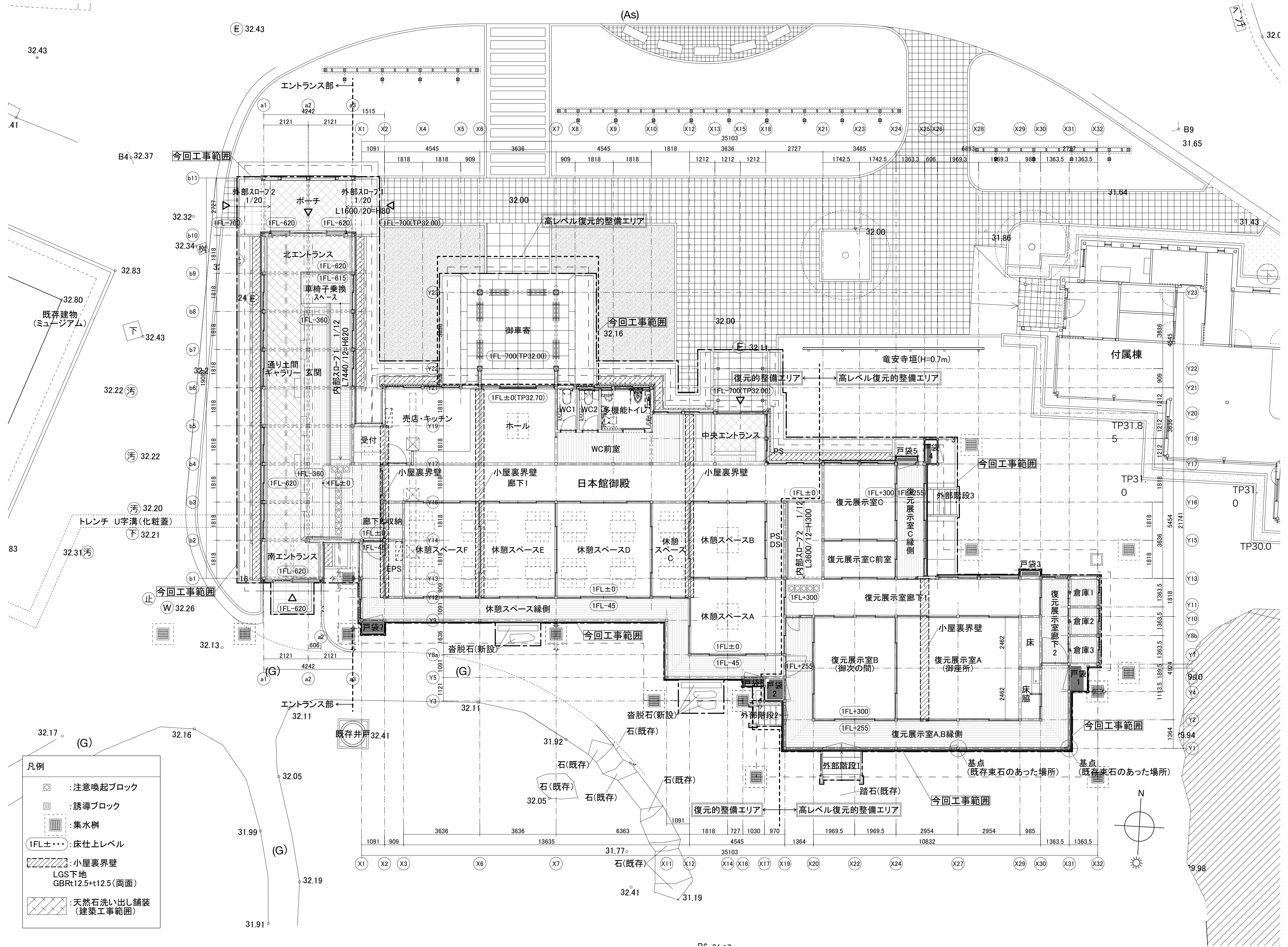
(5) 文字ポイント等、統一的な事項に関しては環境省担当官の指示に従うこと。

3. その他

成果物納入後に請負者側の責めによる不備が発見された場合には、請負者は無償で速やかに必要な措置を講ずること。

(別紙 1)





凡例

- 注意喚起ブロック
- 誘導ブロック
- 集水樹
- 1FL±...: 床仕上レベル
- 小屋裏界壁
- LGS下地
- GBRt12.5+t12.5(両面)
- 天然石洗い出し舗装 (建築工事範囲)

※全ての内装、設備は、今回工事対象外。
※内部の木工事については、以下を除き、今回工事対象外。
・木構造関係箇所 (構造図記載箇所すべて)
・木製床組
・木製建具枠 (木製建具は今回工事対象外)
・鴨居
・敷居
・戸袋

※断熱材については、屋根、外壁、床の木軸組に充填設置されるものについては、今回工事に含む。
※金物については、今回工事に含む。
※内部のユニット(手摺、防護策、サイン)については、今回工事対象外。
※内部塗装については、今回工事対象外。

※外部(屋根、外壁、床、ピット内)については、漆喰仕上げを除き、全て今回工事に含む。

香山建築研究所
KOHYAMA ATELIER

一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)

一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
専任主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)

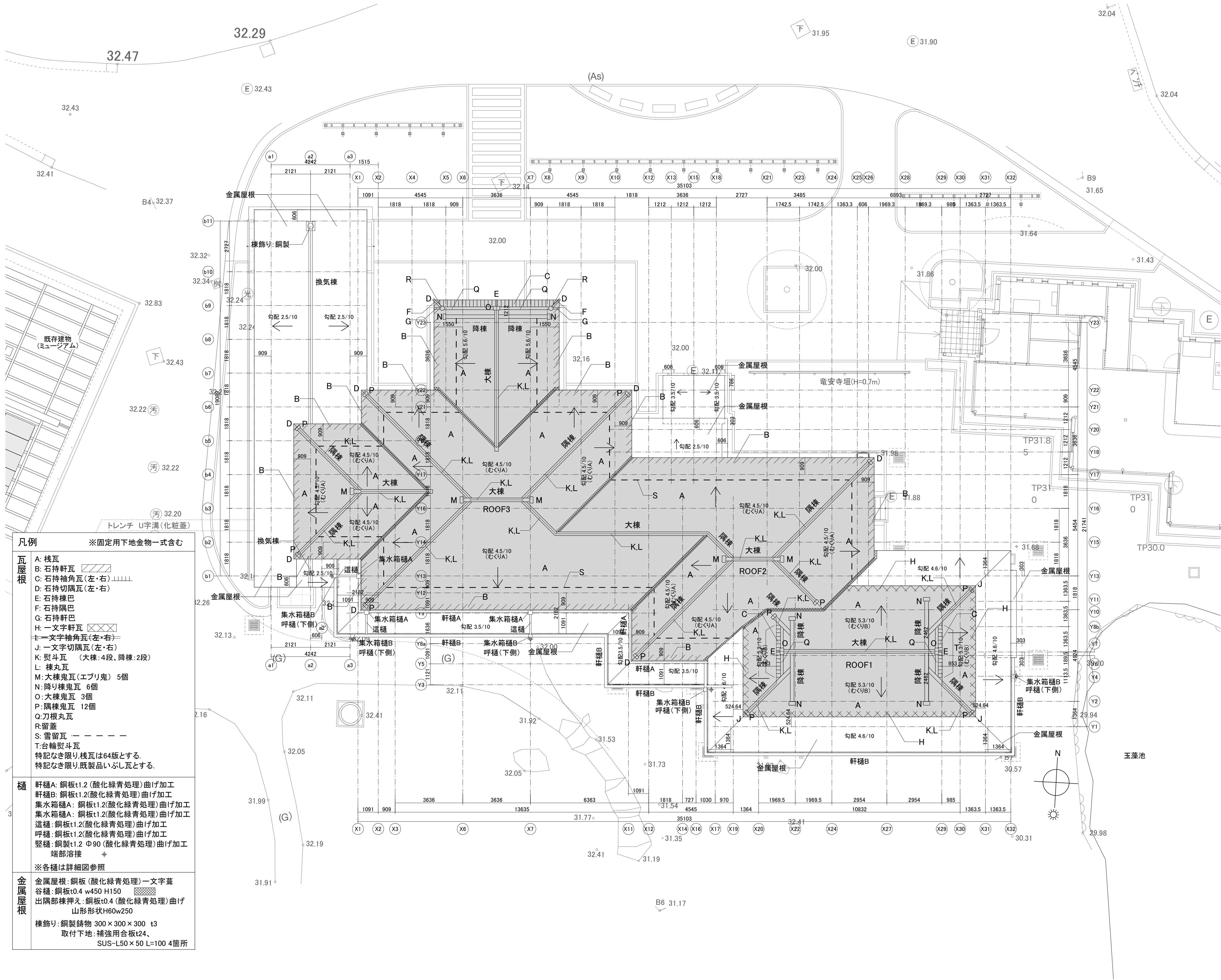
令和7年度新宿御苑日本館御殿工事 (I)

平面図

A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

環境省新宿御苑管理事務所

A-17
17
164



凡例	
※固定用下地金物一式含む	
瓦	A: 棧瓦 B: 石持軒瓦 C: 石持袖角瓦(左・右) D: 石持隅瓦(左・右) E: 石持棟 F: 石持隅 G: 石持軒 H: 一字軒瓦 I: 一字袖角瓦(左・右) J: 一字切隅瓦(左・右) K: 熨斗瓦 (大棟:4段、降棟:2段) L: 棟丸瓦 M: 大棟鬼瓦(エブリ鬼) 5個 N: 降り棟鬼瓦 6個 O: 大棟鬼瓦 3個 P: 隅棟鬼瓦 12個 Q: 刀根丸瓦 R: 留蓋 S: 雪留瓦 T: 台輪型斗瓦 特記なき限り、棧瓦は64版とする。 特記なき限り、既製品いぶし瓦とする。
樋	軒樋A: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 軒樋B: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 集水箱樋A: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 集水箱樋B: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 這樋: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 呼樋: 銅板t1.2(酸化緑青処理)曲げ加工 堅樋: 銅製t1.2 Φ90 (酸化緑青処理)曲げ加工 端部溶接 ※各樋は詳細図参照
金属屋根	金属屋根: 銅板(酸化緑青処理)一文字葺 谷樋: 銅板t0.4 w450 H150 出隅部棟押え: 銅板t0.4 (酸化緑青処理)曲げ 山形形状H60w250 棟飾り: 銅製鋳物 300×300×300 t3 取付下地: 補強用合板t24、 SUS-L50×50 L=100 4箇所

※屋根及び樋は、すべて本工事に含む

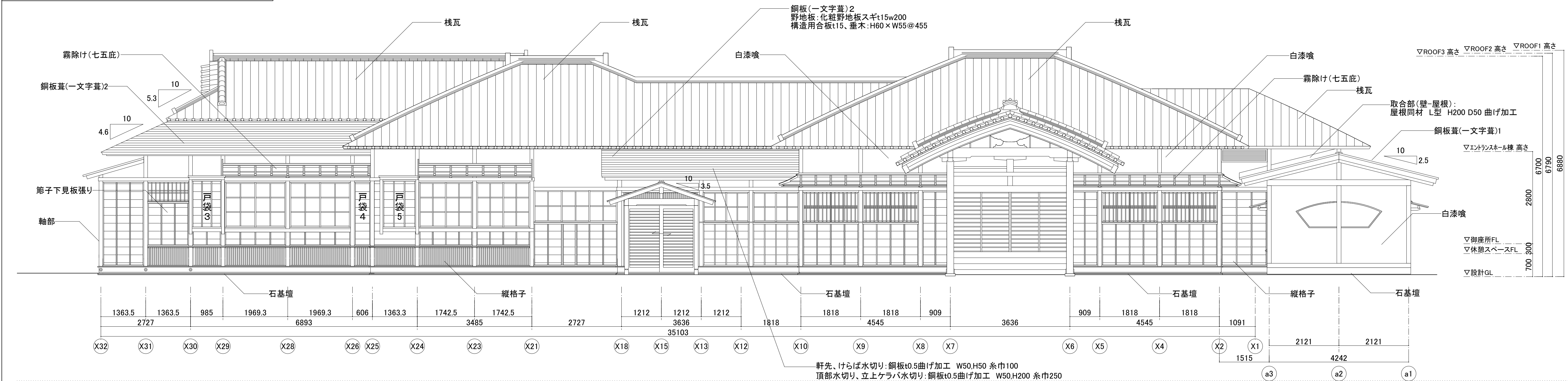
香山建築研究所
KOHYAMA ATELIER
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F
意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(Ⅰ)
屋根伏図
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200
環境省新宿御苑管理事務所

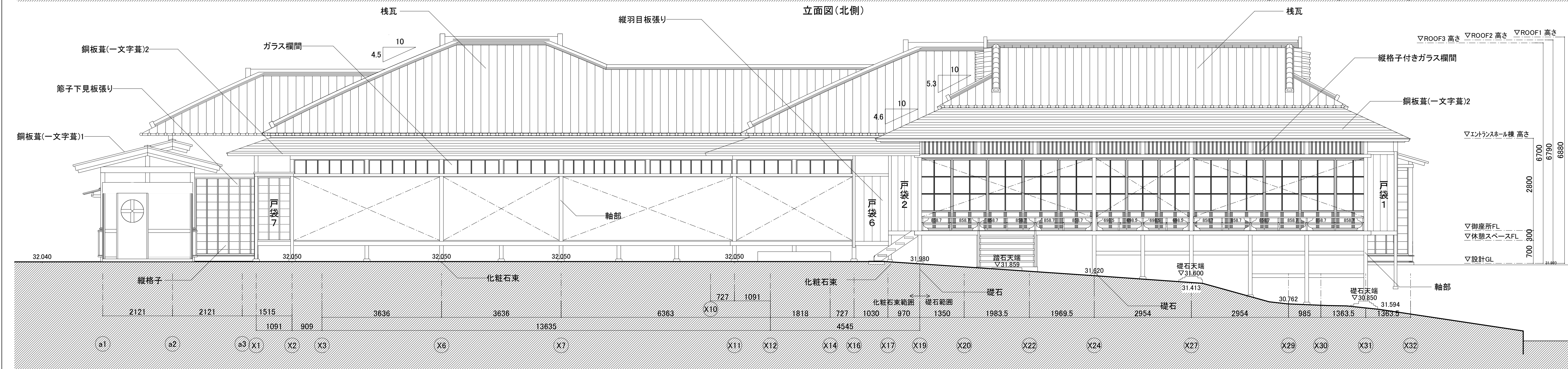
A-18
18
164

※外装関係工事については、以下を除きすべてが今回工事対象。

- ・漆喰仕上げ
- ・木製建具



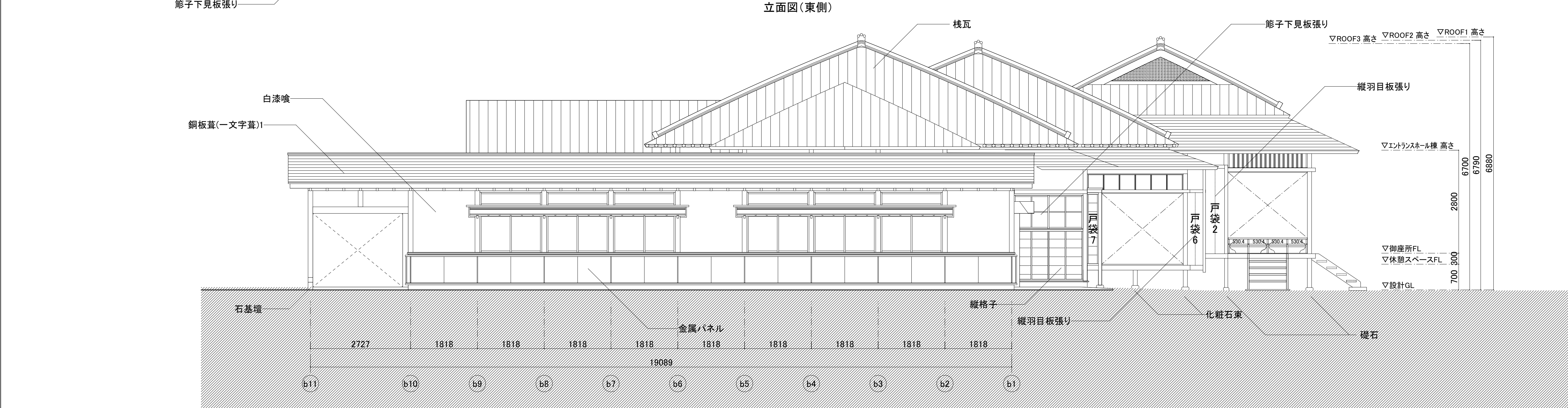
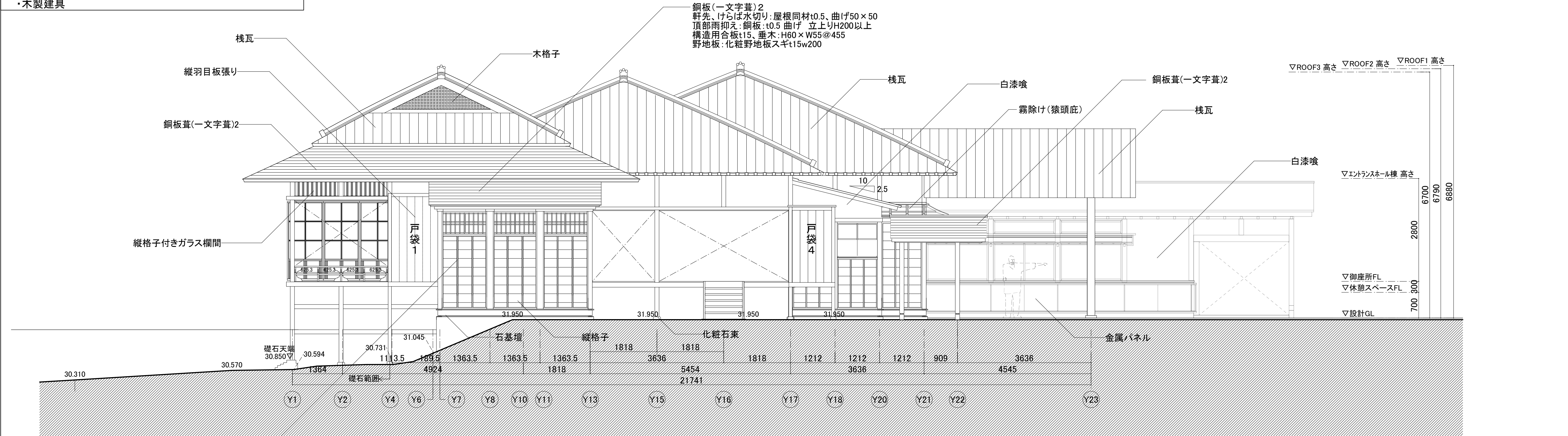
立面図(北側)



立面図(南側)

外部仕上げ表		立面図(南側)	
部 位	略 称	仕上及び地下地構成(特記なき限り以下とする)	
屋根	桧瓦	いぶし瓦(既製品JIS64)、瓦棧H18 W24@215(通気スリットW30入り@90、瓦用防水モルタル、改質アスファルトルーフィング、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5※むくり加工、断熱材t60(フェノールフォーム 1種、固定金物)	
屋根	銅板(一文字葺)1	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、耐水合板t12、合板t12、化粧野地板ヒノキt15、化粧垂木スギ45×90@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)	
下屋	銅板(一文字葺)2	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5、土居桁120×120斜め加工、化粧垂木60×45@454.5、断熱材t60(フェノールフォーム1種、固定金物)	
谷樋	銅板	銅板t0.4(酸化緑青処理)、アスファルトルーフィング940+ゴムアスファルトルーフィング、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、化粧垂木60×45@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)、W450、H150	
軒天井	屋根裏天井	化粧軒天:スギt9(※相勾り)、化粧垂木:スギ60×45@454.5、小舞:スギH21W24@200程度	
小庇	霧除け(七五庇)	底板:ヒノキt24、さるがしら:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、出桁:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、腕木:ヒノキ60×80(面取加工)、雨押:ヒノキt20×90、面戸木:ヒノキt35×80、板掛け:ヒノキt35×80、破風板:ヒノキt30、絵振り板ヒノキt30	
外壁中央	彫子下見板張り	上下桟:スギH40×D40、側桟:スギW30×D40、彫子押縁:スギW30×D15~33、下見板:スギt7 H242(通材)、横胴縁t10×W30 通気スリットW30@300、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(k24)t90、間柱45×90@454.5	
外壁中央	縦目板張り	スギt18、胴縁18×30、アスファルトルーフィング、構造用合板t12、間柱90×45@303+断熱材t90	
外壁下	金属パネル	アルミダイキャストt5(断熱材裏打t30)支持金物一式、アスファルトルーフィング、構造用合板t12(耐水)、間柱90×45@303+グラスウール(K24)t45	
外壁上	白漆喰	本漆喰t10(下塗り、中塗り含む)、ラスカットボードt9、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(K24)t90、間柱45×90@454.5 ※白漆喰仕上げについては、今回工事対象外(ただし、下地材までは本工程対象に含む)	
外壁下部	縦格子	上下桟:ヒノキt40H25※下桟に水抜穴、縦桟:ヒノキW30D40、縦格子:ヒノキW27D30@90、幕板:ヒノキt6、防虫網:SUS5メッシュ黒色塗装(換気口部分のみ)	
柱、桁、梁、貫	軸部	木材保護塗料(無色)	
基壇	石基壇	花崗岩(真壁石、水磨)W90×H150×L909、面取15	
独立基礎	化粧石束	花崗岩(御影石、水磨)t30接着工法、鉄筋コンクリートH200W250D250、	
独立基礎	礎石	花崗岩(御影石、自然形状)300×300×300程度 ※ホゾ穴加工、RC基礎と一体化、柱底面は光付け、高さ調整用鉛板t2×4枚程度	
共通事項: 1)全ての外部露出木部には、木材保護塗料(無色)2回塗りとする。 2)特記なき限り、造作用の化粧木材は、上小節以上とする。 4)見え係となる全ての長押と柱(吊柱含む)の交差部には、長押釘隠しを設置すること。 5)見え係となる全ての土台と柱の交差部には、土台釘隠しを設置すること。			
※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は柾目とする。 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。			
香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号)		令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(Ⅰ) 立面図(1) 北側、南側 A1:S=1/60 A3:S=1/120	
一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)		環境省新宿御苑管理事務所	
		A-19 19 164	

※外装関係工事については、以下を除きすべてが今回工事対象。
・漆喰仕上げ
・木製建具



仕上及び下地構成(特記なき限り以下とする)		
部 位	略 称	
屋根	棧瓦	いぶし瓦(既製品JIS64)、瓦棧H18 W24@215(通気スリットW30入り@90、瓦用防水モルタル、改質アスファルトルーフィング、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5※むくり加工、断熱材t60(フェノールフォーム 1種、固定金物)
屋根	銅板(一文字葺)1	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、耐水合板t12、合板t12、化粧野地板ヒノキt15、化粧垂木スギ45×90@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)
下屋	銅板(一文字葺)2	銅板一文字葺t0.35(酸化緑青処理) 350×1212 アスファルトルーフィング940、銅釘、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、野垂木60×45@454.5、土居桁120×120斜め加工、化粧垂木60×45@454.5、断熱材t60(フェノールフォーム1種、固定金物)
谷樋	銅板	銅板t0.4(酸化緑青処理)、アスファルトルーフィング940+ゴムアスファルトルーフィング、断熱材(硬質ウレタンフォーム)t10、構造用合板t12、化粧垂木60×45@454.5、断熱材(フェノールフォーム1種t60、固定金物)、W450,H150
軒天井	屋根裏天井	化粧軒天:スギt9(※相くり)、化粧垂木:スギ60×45@454.5、小舞:スギH21W24@200程度
小庇	霧除け(七五庇)	底板:ヒノキt24、さるがしら:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、出桁:ヒノキ55×88(上端斜め加工)、腕木:ヒノキ60×80(面取加工)、雨押:ヒノキt20×90、面戸木:ヒノキt35×80、板掛け:ヒノキt35×80、破風板:ヒノキt30、絵振り板ヒノキt30
外壁中央	簷子下見板張り	上下桟:スギH40×D40、側桟:スギW30×D40、簷子押縁:スギW30×D15～33、下見板:スギt7 H242(通材)、横胴縁t10×W30 通気スリットW30@300、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(k24)t90、間柱45×90@454.5
外壁中央	縦羽目板張り	スギt18、胴縁18×30、アスファルトルーフィング、構造用合板t12、間柱90×45@303+断熱材t90
外壁下	金属パネル	アルミダイキャストt5(断熱材裏打t30)支持金物一式、アスファルトルーフィング、構造用合板t12(耐水)、間柱90×45@303+グラスウール(K24)t45
外壁上	白漆喰	本漆喰t10(下塗り、中塗り含む)、ラスカットボードt9、アルミ透湿防水シート、構造用合板t12(耐水)、グラスウール(K24)t90、間柱45×90@454.5 ※白漆喰仕上げについては、今回工事対象外(ただし、下地材までは本工事対象に含む)
外壁下部	縦格子	上下棧:ヒノキt40H25※下棧に水抜穴、縦桟:ヒノキW30D40、縦格子:ヒノキW27D30@90、幕板:ヒノキt6、防虫網:SUS5メッシュ黒色塗装(換気口部分のみ)
柱、桁、梁、貫	軸部	木材保護塗料(無色)
基壇	石基壇	花崗岩(真壁石、水磨)W90×H150×L909、面取15
独立基礎	化粧石束	花崗岩(御影石、水磨)t30接着工法、鉄筋コンクリートH200W250D250、
独立基礎	礎石	花崗岩(御影石、自然形状)300×300×300程度 ※ホゾ穴加工、RC基礎と一体化、柱底面は光付け、高さ調整用鉛板t2×4枚程度
共通事項: 1)全ての外部露出木部には、木材保護塗料(無色)2回塗りとする。 2)特記なき限り、造作用の化粧木材は、上小節以上とする。 4)見え係となる全ての長押と柱(吊柱含む)の交差部には、長押釘隠しを設置すること。 5)見え係となる全ての土台と柱の交差部には、土台釘隠しを設置すること。		
※特記なき限り、外部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。また、付柱は桎目とする。 ※特記なき限り、内部に使用する木材の見掛り面は上小節以上。ただし、抜節・死節は無しとする。 ※特記なき限り、見掛り面以外は、並材以上とする。 ※化粧材(スギ、ヒノキ)については、使用材料の選別等により色合いに著しいバラツキがないよう配慮すること。		
香山建築研究所 KOHYAMA ATELIER 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 管理技術者 長谷川祥久(一級建築士第289714号) 一級建築士事務所第12399号(有)香山建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 意匠主任技術者 松本洋平(一級建築士第367970号)		
令和7年度新宿御苑日本館御殿工事(1)		
立面図(2) 東側、西側		
A1:S=1/60 A3:S=1/120		
環境省新宿御苑管理事務所		
A-20 20 164		

(別紙3)映像撮影 シナリオ

時期	工種	撮影手法	撮影対象	撮影場所	参考撮影回数	参照図番	備考
8月	木軸組加工	地上撮影	材料を加工する様子	工場	1	S-15～30	材料を加工する様子 ・プレカット全般 ・御車寄せの木軸組
8月	〃	地上撮影	材料を加工する様子	工場	1	A-62 S-20, 29	・墓股（かえるまた） ・懸魚（げぎょ） ・垂木（屋根にはむくりがある） （・御車寄せの木軸組）
9月	木造建方	ドローン撮影	木軸組を組む様子	現場	1	S-15～30	・C12B、既存自然礎石への固定 ・C12A・C12C、新設自然礎石への固定 ・柱の込み栓打ち（柱脚もしくは柱頭） ・梁を架ける ・小屋束、母屋の組み
9月	〃	地上撮影	お車寄せの木軸組を組む様子	現場	1	S-29	・相欠きの肘木・小屋梁の組み （・陸梁の大入ほぞ差しかど金物埋木） ・墓股（かえるまた）の組み
9月	屋根仕上工事	地上撮影	瓦を製造する様子	工場	1	A-18～20	・燻瓦
10月	屋根木工事	ドローン撮影	屋根組を組む様子	現場	1	S-19～22	・垂木のむくりのつくり方、垂木の施工 ・軒先の組み部分（タイプA～Cの3種の組み方、谷部分） ・懸魚（げぎょ）の設置
11月	〃	地上撮影	屋根仕上を施工する様子	現場	1	A-18～ 20, 62	・既製品燻瓦葺 ・銅板一文字葺（平葺）（通常部、端部、谷部） （・銅板軒樋、竖樋）
12月	木造現地加工工事	地上撮影	木造の現地加工部分を施工する様子	現場	1	A-17, 29	・間柱 ・合板、防水シート
1月	外部木工事	地上撮影	仕上を施工する様子	現場	1	A-19, 20	外壁 ・縦格子（外壁下部） ・彫子（ささらこ）下見板張り ・縦羽目板張り ・霧除け小庇 ・軒天井（スギ） ・窓枠 屋根 ・妻面の木格子
11月	金物工事	地上撮影	鋳金物を製作する様子	工場	2	A-17, 29, 58, 59	外壁 ・丸型釘隠し（地金素材：銅 厚2.0、φ101、φ53.14、装飾技法：打出し 着色：煮込み）31か所 ・長押六葉釘隠し（地金素材：銅 厚2.0、W91.97×H105.12、装飾技法：打出し、毛彫り、魚子、着色：鍍金）30か所 縁側 ・笹金物（真鍮 厚2.0 特注柄 彫金 化粧鋳 半球φ8 撥水材塗布共）18か所 室内 ・床脇金物A～D（地金素材：銅 t2.0 装飾技法：打出し、毛彫り、魚子、着色：鍍金）19か所 ・床脇 筆返し金物（地金素材：銅 t2.0 装飾技法：打出し、毛彫り、魚子、着色：鍍金）1か所 ・六葉釘隠し（地金素材：銅 厚2.0 装飾技法：打出し、毛彫り、魚子、着色：鍍金）65か所、89か所
1月	石工事	地上撮影	材料の加工の様子	工場	1	A-25, 29-31, 58	・真壁石（床、縁石、石基壇）（小叩き、ピシャン、水磨き） ・真壁石（御車寄 外部階段4の階段踏石（W3400））
2月	内部木工事 外壁下地	地上撮影	木部を施工する様子	現場	2	A-17, 31	・床組 ・間柱 ・建具枠 ・外壁下地

現場	8
工場	6

14

■特記事項

- 想定制作工場先の場所
- ・木加工工場 埼玉県秩父市下影森1220
 - ・瓦製作工場 福井県福井池ノ上町5-12
 - ・鋳金物製作工場 埼玉県越谷市七左町6-32-1
 - ・石加工工場 真壁石（産地：茨城県桜川市）取扱工場

(別紙4) スチル撮影 対象リスト (項目別)

No		分類	場所	撮影の対象	撮影時期	カット数	撮影方法	エキストラ	備考
1	宣材写真	エリア	風景式庭園	・春の風景（開花した桜を含む）	3月	2	地上撮影	-	
2				・夏の風景（鮮やかな緑色の芝生を含む）	7,8月	2	地上撮影	-	
3			玉藻池	・春の風景（開花した桜を含む）	3月	2	地上撮影	-	
4				・夏の風景	7,8月	2	地上撮影	-	主たる眺望視点場からの景色も検討する
5				・秋の風景	9,10月	2	地上撮影	-	
6				・冬の風景	12,1,2月	2	地上撮影	-	
7			整形式庭園	・春の風景	3月	2	地上撮影	-	
8				・夏の風景	7,8月	2	地上撮影	-	
9				・秋の風景	9,10月	2	地上撮影	-	
10				・冬の風景	12,1,2月	2	地上撮影	-	
11			日本庭園	・春の風景（開花した桜を含む）	2,3月	2	地上撮影	-	
12				・夏の風景	7,8月	2	地上撮影	-	
13				・秋の風景（菊花壇展期間以外、紅葉を含む）	10～11月	2	地上撮影	-	
14				・冬の風景（積雪があった場合、積雪を含む）	12,1,2月	2	地上撮影	-	
15		施設	インフォメーションセンター	建物の外観 ・正面側を見る	通年	1	地上撮影	-	
16			旧御涼亭	建物の外観 ・車寄せ側から見る	通年	1	地上撮影	-	
17				建物の内観 ・正面を見る ・北東方向を見る（昭和9年撮影の写真と同じような構図）	通年	2	地上撮影	-	
18			旧御涼亭	・建物内から見た日本庭園の風景	通年	2	地上撮影	-	
19			旧新宿門衛所	建物の外観（門の一部を含む） ・園内から見る	通年	1	地上撮影	-	
20			旧大木戸門衛所	建物の外観（門の一部を含む） ・園内から見る	通年	1	地上撮影	-	
21			正門	正門全体の外観（外周から見る） ・地面に立って見る ・歩道橋に立って見る	通年	2	地上撮影	-	
22			戦前の温室の遺構	遺構全体 ・温室バックヤードを背景に、地上から引きで見る ・上空から見下ろす	通年	2	地上撮影 ドローン撮影	-	
23				細部 ・上空からの寄りで見ると ・地上から寄りで見ると	通年	2	地上撮影 ドローン撮影	-	
24			温室	屋内の全体 ・池、ブリッジを中心に見る等 ・ブリッジから全体を見渡す等	7,8月	2	地上撮影	-	
25				各ゾーン ・各ゾーンの全体的な特徴 ・3～4種程度が映る位の寄り 【ゾーンの種類】 ・熱帯ゾーン ・熱帯池沼ゾーン ・熱帯低地ゾーン ・沖縄ゾーン ・小笠原ゾーン ・乾燥地ゾーン ・熱帯山地ゾーン	7,8月	14	地上撮影	-	2カットずつ（全景1、寄り1）×7ゾーン
26			スターバックスコーピー	建物の外観 ・風景式庭園側から見る ・中の池側から見る	通年	2	地上撮影	-	
27			（映画の舞台となった）四阿	建物が入った風景 ・近景 ・中～遠景	7,8月	2	地上撮影	-	
28			菊栽培棟	・各栽培棟内での作業風景（菊が育ってる最中が望ましい）	夏～10月	2	地上撮影	-	
29			菊ヤード	・菊ヤード全体	夏～10月	2	地上撮影	-	
30			温室バックヤード	・各温室内での栽培風景 【施設の種類】 ・栽培室 ・冷温室 ・日よけ棚	7,8月	3	地上撮影	-	1カットずつ×3施設
31			冷温室	・建物の内観	通年	2	地上撮影	-	
32			丸花壇	・花が咲いている風景	10月,3月	2	地上撮影	-	
33		行事	菊花壇展	菊花壇展の全体の風景 ・上家も含めた花壇が日本庭園と調和 ・回遊して鑑賞する	11/1～15	2	地上撮影	-	

(別紙4) スチル撮影 対象リスト (項目別)

No		分類	場所	撮影の対象	撮影時期	カット数	撮影方法	エキストラ	備考
34				・各花壇の全景（順路に沿った視点が最も美しく鑑賞できる飾り付け） ・各花壇の菊の寄り（数種類が映る程度の寄り） 【花壇の種類】 ・懸崖作り花壇 ・伊勢菊・丁子菊・嵯峨菊花壇 ・大作り花壇 ・江戸菊花壇 ・一文字菊・管物菊花壇 ・肥後菊花壇 ・大菊花壇	11/1～15	14	地上撮影	-	2カットずつ（全景1、寄り1）×7花壇
35				・各露地花壇の全体 ・各露地花壇のある風景 【露地花壇の種類】 ・第一露地花壇 ・第二露地花壇	11/1～15	4	地上撮影	-	2カットずつ（全景1、遠景1）×2露地花壇
36			洋らん展	・開催の全体的な風景 ・鉢が並んでいる風景	11/18～24	2	地上撮影	-	
37			野鳥の巣箱プログラム	野鳥の巣箱ワークショップの紹介 ・ワークショップに参加して、巣箱を設置する様子、もしくは、設置した巣箱を観察する様子	11,12月	2	地上撮影	2人	11月巣箱を調べるWS、12月巣箱をつくるWSが実施予定
38			園内ガイドウォーク	ガイドウォークの紹介 ・ガイドウォークに参加して、パークボランティアから園内を案内されている様子	通年	2		2人	ガイドウォークは、月2回実施（土曜日） 9/26、10/10,24、11/7,14,28、 12/5,12、1/9,23、2/13,27
39		植物	バラ花壇	・バラが開花した花壇の風景 【花壇の種類】 ・西花壇 ・東花壇 ・全体（西花壇と東花壇）	10月	3	地上撮影	-	・1カットずつ×3花壇
40			温室	・各エリアの植物（2種ずつ）	夏～秋	14	地上撮影	-	1カットずつ×植物2種×7ゾーン 対象の種と撮影時期は、温室担当者と打合せの上、確定すること
41			桜	満開時の風景 ・風景式庭園の広がりと連続的な桜の景観 ・桜並木の園路	3月	2	地上撮影	-	
42				園内の桜 ・樹形 ・花の寄り 【桜の種類】 ・ソメイヨシノ ・タカトオコヒガンザクラ ・枝垂れ桜	3月	6	地上撮影	-	2カットずつ（全景1、寄り1）×植物3種
43			シンボルツリー	園内のシンボルツリー ・ハクモクレン（日本庭園）	3月	2	地上撮影	-	
44	屋外標識	魅力、巡る	風景式庭園	融合した庭園であることを示す ・芝生の庭園と他の要素が連続した景色	7,8月	1	地上撮影	-	
45			スターバックスコーヒー	飲食を伴って、休憩しているシーンを示す ・休憩スペースを前景とした中の池への眺め	7,8月	1	地上撮影	2人	室内、もしくは、建物横の芝生の斜面にて
46			翔天亭	飲食を伴って、休憩しているシーンを示す ・屋外縁台での休憩を前景とした芝生への眺め	7,8月	1	地上撮影	2人	視点場の設定(屋外・屋内)は、ロケハン後・打合せにて決定
47		普及啓発	風景式庭園	大切にしたい景色を撮影する ・旧洋館御休所の前に広がる、ハルニレのシンボルツリーを中心とした芝生の景色	7,8月	1	地上撮影		
48				大切にしたい景色を撮影する ・桜・ヒマラヤシーダーなどの木々が連続して風景式庭園の背景を形成している景色（レストランゆりのき近く）	夏～秋	1	地上撮影		
49				大切にしたい景色を撮影する ・芝生の広場、緩やかに曲がった園路、大きな樹木のある景色	7,8月	1	地上撮影		
50				大切にしたい景色を撮影する ・様々な巨木が表情を表している芝生の広場の景色	7,8月	1	地上撮影		
51			大木戸まわり	大切にしたい景色を撮影する ・タイサンボク、ソメイヨシノのある園路の景色	7,8月	1	地上撮影		
52			外周林	大切にしたい景色を撮影する ・玉藻池の下流の小川近くの外周園路にて、木漏れ日の景色	7,8月	1	地上撮影		
53				大切にしたい景色を撮影する ・擬木橋北側にあるモミジバスズカケノキ、もしくは、そのまわりの景色	7,8月	1	地上撮影		
54				大切にしたい景色を撮影する ・千駄ヶ谷発券所側からこども広場南側の園路の景色	7,8月	1	地上撮影		

(別紙4) スチル撮影 対象リスト (項目別)

No		分類	場所	撮影の対象	撮影時期	カット数	撮影方法	エキストラ	備考
55	音声ガイド	エリア	日本庭園	大切にしたい景色を撮影する ・上の池周りから見た庭園の景色	夏～秋	1	地上撮影		
56				大切にしたい景色を撮影する ・多行松のある芝生の広がりのある景色	7,8月	1	地上撮影		
57			母と子の森～日本庭園	大切にしたい景色を撮影する ・日本庭園を囲んでいる巨樹のある森の景色	夏～秋	1	地上撮影		
58			玉藻池	滝は昔の面影を感じることができる要素であることを示す ・滝がきれいに見える場所から見る	7,8月	1	地上撮影		
59				日本庭園は五感で楽しむ趣があることを示す ・池寄りの砂利の園路から東方向を見る	7,8月	1	地上撮影		
60				日本庭園は水や石が景観の要素であることを示す ・池の南側、小高い視点場から見える水と石の要素を対象とする（構図は体験性と関連させる）	7,8月	1	地上撮影		
61			日本庭園	中島には主に松が植栽されていることを示す ・対象の中島に、きれいに松が植えられている景色	7,8月	1	地上撮影		
62			桜園地の見晴らし台	中の池はかつての谷状の地形を生かして形成されたことを示す ・見晴らし台から谷地形を一望する	7,8月	1	地上撮影		
63			こども広場	こども広場の紹介 ・巨樹に囲まれて視線が抜ける芝生の斜面の景色	7,8月	1	地上撮影		
64			中の池	中の池の主な眺めの紹介 ・下の池側から中の池を見通す景色	7,8月	1	地上撮影		
65			外周林	外周林の紹介 ・玉藻池東側の園路の景色	7,8月	1	地上撮影		
66				ランニングの紹介 ・外周林の高木からの木陰の中をランニングする様子	7,8月	1	地上撮影	2人	
67		施設	楽羽亭	建物の紹介 ・外観、もしくは、室内からの眺め	通年	1	地上撮影		
68			翔天亭	建物の紹介 ・芝生を前景とした外観、もしくは、室内からの眺め	通年	1	地上撮影		
69			ボトル給水器	ボトル給水器の紹介 ・ボトル給水器にて水筒に水を汲む様子	7,8月	1	地上撮影	2人	
70		活動	自然観察会	自然観察会の紹介 ・自然観察会に参加して、ボランティアの講師の指導のもと、子ども（4歳～中学3年生）たちが自然とふれあっている様子	通年	1	地上撮影	2人	年6回程度実施 6/7日、8/1土、9/20日、10/25日、12/6日
71			整形式庭園	バラを育てている活動を紹介 ・ボランティアによるバラを育てる活動の様子	10月	1	地上撮影		バラ・ガイドウォークは、5月と10月の下旬土日の2日間に実施

凡例

3,4月	春
5,6月	初夏
7,8月	夏
9,10月	秋
11,12月	晩秋
12,1,2月	冬

(別紙4) スチル撮影 対象リスト (時期順)

No		分類	場所	撮影の対象	撮影時期	カット数	撮影方法	エキストラ	備考
15	宣材写真	施設	インフォメーションセンター	建物の外観 ・正面側を見る	通年	1	地上撮影	-	
16	宣材写真	施設	旧御涼亭	建物の外観 ・車寄せ側から見る	通年	1	地上撮影	-	
17	宣材写真	施設	旧御涼亭	建物の内観 ・正面を見る ・北東方向を見る (昭和9年撮影の写真と同じような構図)	通年	2	地上撮影	-	
18	宣材写真	施設	旧御涼亭	・建物内から見た日本庭園の風景	通年	2	地上撮影	-	
19	宣材写真	施設	旧新宿門衛所	建物の外観 (門の一部を含む) ・園内から見る	通年	1	地上撮影	-	
20	宣材写真	施設	旧大木戸門衛所	建物の外観 (門の一部を含む) ・園内から見る	通年	1	地上撮影	-	
21	宣材写真	施設	正門	正門全体の外観 (外周から見る) ・地面に立って見る ・歩道橋に立って見る	通年	2	地上撮影	-	
22	宣材写真	施設	戦前の温室の遺構	遺構全体 ・温室バックヤードを背景に、地上から引きで見る ・上空から見下ろす	通年	2	地上撮影 ドローン撮影	-	
23	宣材写真	施設	戦前の温室の遺構	細部 ・上空からの寄りで見える ・地上から寄りで見える	通年	2	地上撮影 ドローン撮影	-	
26	宣材写真	施設	スターバックスコーヒー	建物の外観 ・風景式庭園側から見る ・中の池側から見る	通年	2	地上撮影	-	
67	音声ガイド	施設	楽羽亭	建物の紹介 ・外観、もしくは、室内からの眺め	通年	1	地上撮影		
68	音声ガイド	施設	翔天亭	建物の紹介 ・芝生を前景とした外観、もしくは、室内からの眺め	通年	1	地上撮影		
38	宣材写真	行事	園内ガイドウォーク	ガイドウォークの紹介 ・ガイドウォークに参加して、パークボランティアから園内を案内されている様子	通年	2	地上撮影	2人	ガイドウォークは、月2回実施 (土曜日) 9/26、10/10,24、11/7,14,28、12/5,12、1/9,23、2/13,27
70	音声ガイド	活動	自然観察会	自然観察会の紹介 ・自然観察会に参加して、ボランティアの講師の指導のもと、子ども (4歳～中学3年生) たちが自然とふれあっている様子	通年	1	地上撮影	2人	年6回程度実施 6/7日、8/1土、9/20日、10/25日、12/6日
2	宣材写真	エリア	風景式庭園	・夏の風景 (鮮やかな緑色の芝生を含む)	7,8月	2	地上撮影	-	
4	宣材写真	エリア	玉藻池	・夏の風景	7,8月	2	地上撮影	-	主たる眺望視点場からの景色も検討する
8	宣材写真	エリア	整形式庭園	・夏の風景	7,8月	2	地上撮影	-	
12	宣材写真	エリア	日本庭園	・夏の風景	7,8月	2	地上撮影	-	
31	宣材写真	施設	冷温室	・建物の内観	通年	2	地上撮影	-	
24	宣材写真	施設	温室	屋内の全体 ・池、ブリッジを中心に見る等 ・ブリッジから全体を見渡す等	7,8月	2	地上撮影	-	
25	宣材写真	施設	温室	各ゾーン ・各ゾーンの全体的な特徴 ・3～4種程度が映る位の寄り 【ゾーンの種類】 ・熱帯ゾーン ・熱帯池沼ゾーン ・熱帯低地ゾーン ・沖縄ゾーン ・小笠原ゾーン ・乾燥地ゾーン ・熱帯山地ゾーン	7,8月	14	地上撮影	-	2カットずつ (全景1、寄り1) × 7ゾーン
30	宣材写真	施設	温室バックヤード	・各温室内での栽培風景 【施設の種類】 ・栽培室 ・冷温室 ・日よけ棚	7,8月	3	地上撮影	-	1カットずつ×3施設
40	宣材写真	植物	温室	・各エリアの植物 (2種ずつ)	夏～秋	14	地上撮影	-	1カットずつ×植物2種×7ゾーン 対象の種と撮影時期は、温室担当者と打合せの上、確定すること
27	宣材写真	施設	(映画の舞台となった) 四阿	建物が入った風景 ・近景 ・中～遠景	7,8月	2	地上撮影	-	

(別紙4) スチル撮影 対象リスト (時期順)

No		分類	場所	撮影の対象	撮影時期	カット数	撮影方法	エキストラ	備考
44	屋外標識	魅力、巡る	風景式庭園	融合した庭園であることを示す ・芝生の庭園と他の要素が連続した景色	7,8月	1	地上撮影	-	
45	屋外標識	魅力、お食事処	スターバックスコーヒー	飲食を伴って、休憩しているシーンを示す ・休憩スペースを前景とした中の池への眺め	7,8月	1	地上撮影	2人	室内、もしくは、建物横の芝生の斜面にて
46	屋外標識	魅力、お食事処	翔天亭	飲食を伴って、休憩しているシーンを示す ・屋外縁台での休憩を前景とした芝生への眺め	7,8月	1	地上撮影	2人	視点場の設定(屋外・屋内)は、ロケハン後・打合せにて決定
47	屋外標識	普及啓発	風景式庭園	大切にしたい景色を撮影する ・旧洋館御休所の前に広がる、ハルニレのシンボルツリーを中心とした芝生の景色	7,8月	1	地上撮影		
49	屋外標識	普及啓発	風景式庭園	大切にしたい景色を撮影する ・芝生の広場、緩やかに曲がった園路、大きな樹木のある景色	7,8月	1	地上撮影		
50	屋外標識	普及啓発	風景式庭園	大切にしたい景色を撮影する ・様々な巨木が表情を表している芝生の広場の景色	7,8月	1	地上撮影		
51	屋外標識	普及啓発	大木戸まわり	大切にしたい景色を撮影する ・タイサンボク、ソメイヨシノのある園路の景色	7,8月	1	地上撮影		
52	屋外標識	普及啓発	外周林	大切にしたい景色を撮影する ・玉藻池の下流の小川近くの外周園路にて、木漏れ日の景色	7,8月	1	地上撮影		
53	屋外標識	普及啓発	外周林	大切にしたい景色を撮影する ・擬木橋北側にあるモミジバズカケノキ、もしくは、そのまわりの景色	7,8月	1	地上撮影		
54	屋外標識	普及啓発	外周林	大切にしたい景色を撮影する ・千駄ヶ谷発券所側からこども広場南側の園路の景色	7,8月	1	地上撮影		
56	屋外標識	普及啓発	日本庭園	大切にしたい景色を撮影する ・多行松のある芝生の広がりのある景色	7,8月	1	地上撮影		
58	音声ガイド	エリア	玉藻池	滝は昔の面影を感じることができる要素であることを示す ・滝がきれいに見える場所から見る	7,8月	1	地上撮影		
59	音声ガイド	エリア	玉藻池	日本庭園は五感で楽しむ趣があることを示す ・池寄りの砂利の園路から東方向を見る	7,8月	1	地上撮影		
60	音声ガイド	エリア	玉藻池	日本庭園は水や石が景観の要素であることを示す ・池の南側、小高い視点場から見える水と石の要素を対象とする（構図は体験性と関連させる）	7,8月	1	地上撮影		
61	音声ガイド	エリア	日本庭園	中島には主に松が植栽されていることを示す ・対象の中島に、きれいに松が植えられている景色	7,8月	1	地上撮影		
62	音声ガイド	エリア	桜園地の見晴らし台	中の池はかつての谷状の地形を生かして形成されたことを示す ・見晴らし台から谷地形を一望する	7,8月	1	地上撮影		
63	音声ガイド	エリア	こども広場	こども広場の紹介 ・巨樹に囲まれて視線が抜ける芝生の斜面の景色	7,8月	1	地上撮影		
64	音声ガイド	エリア	中の池	中の池の主な眺めの紹介 ・下の池側から中の池を見通す景色	7,8月	1	地上撮影		
65	音声ガイド	エリア	外周林	外周林の紹介 ・玉藻池東側の園路の景色	7,8月	1	地上撮影		
66	音声ガイド	エリア	外周林	ランニングの紹介 ・外周林の高木からの木陰の中をランニングする様子	7,8月	1	地上撮影	2人	
69	音声ガイド	施設	ボトル給水器	ボトル給水器の紹介 ・ボトル給水器にて水筒に水を汲む様子	7,8月	1	地上撮影	2人	
48	屋外標識	普及啓発	風景式庭園	大切にしたい景色を撮影する ・桜・ヒマラヤシーダーなどの木々が連続して風景式庭園の背景を形成している景色（レストランゆりのき近く）	夏～秋	1	地上撮影		
55	屋外標識	普及啓発	日本庭園	大切にしたい景色を撮影する ・上の池周りから見た庭園の景色	夏～秋	1	地上撮影		
57	屋外標識	普及啓発	母と子の森～日本庭園	大切にしたい景色を撮影する ・日本庭園を囲んでいる巨樹のある森の景色	夏～秋	1	地上撮影		
5	宣材写真	エリア	玉藻池	・秋の風景	9,10月	2	地上撮影	-	
9	宣材写真	エリア	整形式庭園	・秋の風景	9,10月	2	地上撮影	-	
13	宣材写真	エリア	日本庭園	・秋の風景（菊花壇展覧期間以外、紅葉を含む）	10～11月	2	地上撮影	-	
32	宣材写真	施設	丸花壇	・花が咲いている風景	10,3月	2	地上撮影	-	

(別紙4) スチル撮影 対象リスト (時期順)

No		分類	場所	撮影の対象	撮影時期	カット数	撮影方法	エキストラ	備考
39	宣材写真	植物	バラ花壇	・バラが開花した花壇の風景 【花壇の種類】 ・西花壇 ・東花壇 ・全体（西花壇と東花壇）	10月	3	地上撮影	-	1カットずつ×3花壇
71	音声ガイド	活動	整形式庭園	バラを育てている活動を紹介 ・ボランティアによるバラを育てる活動の様子	10月	1	地上撮影		バラ・ガイドウォークは、5月と10月の下旬土日の2日間に実施
28	宣材写真	施設	菊栽培棟	・各栽培棟内での作業風景（菊が育ってる最中が望ましい）	夏～10月	2	地上撮影	-	
29	宣材写真	施設	菊ヤード	・菊ヤード全体	夏～10月	2	地上撮影	-	
33	宣材写真	行事	菊花壇展	菊花壇展の全体の風景 ・上家も含めた花壇が日本庭園と調和 ・回遊して鑑賞する	11/1～15	2	地上撮影	-	
34	宣材写真	行事	菊花壇展	・各花壇の全景（順路に沿った視点が最も美しく鑑賞できる飾り付け） ・各花壇の菊の寄り（数種類が映る程度の寄り） 【花壇の種類】 ・懸崖作り花壇 ・伊勢菊・丁子菊・嵯峨菊花壇 ・大作り花壇 ・江戸菊花壇 ・一文字菊・管物菊花壇 ・肥後菊花壇 ・大菊花壇	11/1～15	14	地上撮影	-	2カットずつ（全景1、寄り1）×7花壇
35	宣材写真	行事	菊花壇展	・各露地花壇の全体 ・各露地花壇のある風景 【露地花壇の種類】 ・第一露地花壇 ・第二露地花壇	11/1～15	4	地上撮影	-	2カットずつ（全景1、遠景1）×2露地花壇
36	宣材写真	行事	洋らん展	・開催の全体的な風景 ・鉢が並んでいる風景	11/18～24	2	地上撮影	-	
37	宣材写真	行事	野鳥の巣箱プログラム	野鳥の巣箱ワークショップの紹介 ・ワークショップに参加して、巣箱を設置する様子、もしくは、設置した巣箱を観察する様子	11,12月	2	地上撮影	2人	11月巣箱を調べるWS、12月巣箱をつくるWSが実施予定
6	宣材写真	エリア	玉藻池	・冬の風景	12,1,2月	2	地上撮影	-	
10	宣材写真	エリア	整形式庭園	・冬の風景	12,1,2月	2	地上撮影	-	
14	宣材写真	エリア	日本庭園	・冬の風景（積雪があった場合、積雪を含む）	12,1,2月	2	地上撮影	-	
11	宣材写真	エリア	日本庭園	・春の風景（開花した桜を含む）	2,3月	2	地上撮影	-	
1	宣材写真	エリア	風景式庭園	・春の風景（開花した桜を含む）	3月	2	地上撮影	-	
3	宣材写真	エリア	玉藻池	・春の風景（開花した桜を含む）	3月	2	地上撮影	-	
7	宣材写真	エリア	整形式庭園	・春の風景	3月	2	地上撮影	-	
41	宣材写真	植物	桜	満開時の風景 ・風景式庭園の広がりと連続的な桜の景観 ・桜並木の園路	3月	2	地上撮影	-	
42	宣材写真	植物	桜	園内の桜 ・樹形 ・花の寄り 【桜の種類】 ・ソメイヨシノ ・タカトオコヒガンザクラ ・枝垂れ桜	3月	6	地上撮影	-	2カットずつ（全景1、寄り1）×植物3種
43	宣材写真	植物	シンボルツリー	園内のシンボルツリー ・ハクモクレン（日本庭園）	3月	2	地上撮影	-	

凡例

3,4月	春
5,6月	初夏
7,8月	夏
9,10月	秋
11,12月	晩秋
12,1,2月	冬